

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業		担当部局庁	研究振興局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成28年度		担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 板倉康洋		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 Ⅹ-2 科学技術振興のための基盤の強化			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新たなライフサイエンス研究の構築と展開(平成21年12月ライフサイエンス委員会)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月医療イノベーション会議)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるために、創薬等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する創薬・医療技術支援基盤を構築して、大学・研究機関等による創薬等の研究を支援することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	創薬・医療技術に活用可能な最先端の計測・分析装置等を企業や大学等に対して広く共用するとともに、共同利用の促進に取り組む。また、数理学と融合し新しい創薬基盤技術を開発する取り組みや、広く研究者が最先端の創薬・医療技術支援基盤を共用する取り組みを支援するとともに、研究者等の利便性及び研究の効率性の観点から、これらの基盤が一体として活用できる体制を整備し、共用のために必要な運営経費等を支援。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	2,268	3,290	3,122	3,893
		繰越し等	-	-	△ 0	-	-
		計	-	2,268	3,290	3,122	3,893
	執行額	-	2,267	3,258	-	-	
	執行率(%)	-	100.0%	99.0%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションへの貢献を成果目標としており、本経費の執行に当たっては、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であることから、成果目標を定量的に示せるものではない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	創薬等に活用可能な最先端研究基盤共用件数(上段)放射光施設外部利用件数(年度)(下段)化合物提供者数(重複を排除した積算)		活動実績 (当初見込み)	-	761.5	1013.8	954.5
				-	87	178	270
単位当たりコスト	3.2百万(円/件)		算出根拠	3.2(百万円/件) =(平成24年度執行額:3,290百万円)÷(実施件数:1013.8)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	3.7百万円	-				
	諸謝金	2.6百万円	2.4百万円				
	職員旅費	2.6百万円	1.6百万円				
	委員等旅費	2.3百万円	1.4百万円				
	庁費	1.3百万円	1.2百万円				
	科学技術試験委託費	22.2百万円	28.4百万円				
	研究開発施設共用等促進費補助金	3,086.9百万円	3,858.4百万円				
	計	3,121.6百万円	3,893.4百万円				
※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。							

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	○ライフイノベーションの実現に向けた重要課題である「安全で有効性の高い治療の実現」のために、創薬等の研究支援基盤を整備・高度化する必要がある。(第4期科学技術基本計画、4.(2).iii)		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	○創薬等の研究支援基盤を確立するため、オールジャパンの体制で最先端の技術基盤を整備し、広く研究者を支援する本事業は優先度が高く、国が責任を持って実施する必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	○公募により実施課題を募集し、公正なプロセスで課題選考を実施している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	○受益者負担については推進委員会等で検討し妥当な運用を行っている。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	○全ての実施課題について業務計画書を精査し、事業目的に則した費目・使途となっているか等を確認し、適切な支出を行っている。また、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施し、資金の流れ、費目・使途が妥当であること、および効率の良い資金運用がなされていることを確認している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	○ターゲットタンパク研究プログラムの中間評価・事後評価等や、本事業の事前評価等を踏まえ、実効性の高い運営を行っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	○自己点検票に基づき推進委員による内部評価を実施し当初計画と比べた進捗状況を確認した。		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	○本事業の活動目的は、整備された施設や成果物の共用であり、それらは十分に活用され、活動実績が見込みに見合っていることを確認している。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>○ターゲットタンパク研究プログラムで整備された基盤技術や施設・設備等を活用すべく、平成23年度より、「生産」「解析」「制御」及び「情報プラットフォーム」の4領域を設け事業を開始し、平成24年度からは「解析拠点：解析領域、生産領域、バイオインフォマティクス領域」「制御拠点：ライブラリースクリーニング領域、合成領域」及び「情報拠点：情報領域」の3拠点・6領域を設置し幅広いライフサイエンス研究の支援を行った。計画通り、外部研究者等に共用するための仕組みを充実し、積極的な外部開放を実施することができた。</p> <p>○平成24年度より生命動態システム科学推進拠点事業を開始し創薬・医学研究で活用できる手法の確立・共同研究・利用の促進に取り組んだ。</p> <p>○自己点検票に基づき推進委員による内部評価を実施することにより当初計画と比べた進捗状況を確認し、外部研究者の利用実績や化合物の提供実績等について、計画通りに事業が実施されたことを確認した。</p> <p>○経費の費目・使途、厳格に把握している。具体的には、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施している。</p>				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、創薬プロセス等に活用可能な技術基盤の整備、積極的な外部開放(共用)等を行うことで、創薬・医療技術シーズ等を着実かつ迅速に医薬品等に結び付ける革新的プロセスを実現することを目的としたものであり、事業成果等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業はターゲットタンパク研究プログラムの中間評価及び事後評価等や本事業の事前評価を踏まえ、実効性の高い運営を行い、また、自己点検票に基づき内部評価を実施し、当初計画と比べた進捗状況の確認を行っていることは評価するものの、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業成果の検証を行うべきである。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	<p>本事業はターゲットタンパク研究プログラムの中間評価及び事後評価等や本事業の事前評価を踏まえ、引き続き実効性の高い運営を行うべく自己点検票に基づいた内部評価による進捗状況の確認を行い、事業の効果的・効率的な実施を目指す。今後も中間評価や内部評価などを踏まえ、効率的な経費執行に努める。</p>				
備考					
<p>&lt;関連ホームページ等&gt;  ○事業のホームページ：<a href="http://www.pford.jp/">http://www.pford.jp/</a> 事業の目的や詳細な支援内容の紹介  ○データ解析拠点のホームページ：<a href="http://p4d-info.nig.ac.jp/">http://p4d-info.nig.ac.jp/</a> タンパク質構造等のデータベース、解析ツールを提供</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新23-0049	平成24年	0250

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省

3, 258百万円

非常勤職員手当	3.8百万円	
諸謝金	0.8百万円	
職員旅費	0.3百万円	を含む
委員等旅費	0.7百万円	
庁費	0.1百万円	

創業プロセス等に活用可能な最先端創業等研究施設を保有する研究機関に対して、研究者等による当該施設の利用促進及び創業プロセス等に活用可能な技術基盤の整備等を行うための経費を補助することにより、創業等支援技術基盤の強化を図ることを目的とする。

[ 公募・交付 ]

A. 創業等支援技術基盤プラットフォーム  
: 2,664百万円

創業・医療技術等のライフサイエンス研究に活用可能な最先端の計測・分析装置等を企業や大学等に対して広く共用するとともに、共同利用の促進に取り組む。また、広く研究者が最先端の創業・医療技術支援基盤を共用する取り組みを支援するとともに、研究者等の利便性及び研究の効率性の観点から、これらの基盤が一体として活用できる体制を整備し、共用のために必

[ 公募・交付 ]

B. 生命動態システム科学推進拠点  
: 588百万円

大学・独立行政法人等(全4機関)

生命動態システム科学として、数理科学との融合により、多様な解析手法の開発や、生命現象の様々な階層を超え階層間の連携を促進することが、将来の創業・医学研究で活用できる手法の確立・共同研究・利用の促進に取り組む。生命動態システム科学推進拠点により、数理科学との融合して研究者の育成や、参画する研究者のキャリアパスに貢献のために

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何をいつしているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A. 国立大学法人東京大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	分析機器等	298			
人件費・謝金	創薬専門職員の雇用	142			
旅費	国内旅費等	6			
外注費	機器の保守点検等	53			
諸経費	研究室借料等	42			
計		541	計		0
B. 国立大学法人京都大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	多光子レーザー走査型顕微鏡システム等	150			
計		150	計		0
C			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	大型創薬研究基盤を活用した創薬オープンイノベーションの推進	541	企画競争	—
2	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	創薬等支援のためのタンパク質立体構造解析総合技術基盤プラットフォームによる支援と高度化	329	企画競争	—
3	独立行政法人理化学研究所	創薬等支援のためのタンパク質立体構造解析総合技術基盤プラットフォームによる支援と高度化(SPring-8における創薬等支援のためのタンパク質立体構造解析の支援と高度化)	253	企画競争	—
4	独立行政法人理化学研究所	無細胞系と細胞系の複合による高難度複合体・創薬関連タンパク質の合成・精製・結晶化/バイプライク技術の高度化と支援	100	企画競争	—
5	国立大学法人東京大学	RaPID基盤技術が拓く構造生命科学と創薬の飛躍的加速	96	企画競争	—
6	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	構造生命科学データクラウドの構築運用と高度化	65	企画競争	—
7	国立大学法人北海道大学	大型創薬研究基盤を活用した創薬オープンイノベーションの推進(難治性疾患ターゲットに挑戦する北の化合物スクリーニング拠点形成)	60	企画競争	—
8	国立大学法人東北大学	大型創薬研究基盤を活用した創薬オープンイノベーションの推進(オープンイノベーションに基づくアカデミア発創薬)	60	企画競争	—
9	国立大学法人京都大学	大型創薬研究基盤を活用した創薬オープンイノベーションの推進(細胞アッセイから治験までのワンストップ創薬支援)	60	企画競争	—
10	国立大学法人九州大学	大型創薬研究基盤を活用した創薬オープンイノベーションの推進(九州大学群拠点推進事業)	60	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人京都大学	多次元定量イメージングに基づく数理モデルを用いた動的生命システムの革新的研究体系の開発・教育拠点	150	企画競争	—
2	国立大学法人東京大学	転写の機構解明のための動態システム生物医学数理解析拠点	150	企画競争	—
3	国立大学法人広島大学	核内クロマチン・ライブダイナミクスの数理研究拠点形成	145	企画競争	—
4	国立大学法人東京大学	複雑生命システム動態研究教育拠点	143	企画競争	—